議会だより みなかみ

令和８年
2026年
11月15日発行
89号
群馬県利根郡みなかみ町

バックナンバーが見られます。

Minakami Biosphere Reserve



新しい歴史のスタート
よーい ドン！

第１回　月夜野小学校運動会

新 みなかみ町議会 議員の顔ぶれ

議長就任あいさつ



阿部 清（65）
綱子
3期

このたび10月臨時議会において、議長に就任いたしました阿部 清でございます。大変光栄に存じますとともに、その責任と使命の重さを痛感しております。

人口減少や少子高齢化対策をはじめ、激甚化する災害対策など、町の課題は山積しております。このような状況下において、議会が果たす役割はますます重要になってきます。

地域の活性化を促進し、将来にわたって持続的に発展する町を目指すためにも、具体的な政策の最終決定や行財政運営の監視をしっかりと果たすことが、議員の職責であると考えております。

議会はそれぞれ主義主張が異なる議員によって構成されていますが、目指すところはひとつであり、その実現に向け議論を深め、公平公正な議会運営に努めてまいります。

今後とも、町民皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、就任の挨拶といたします。

副議長就任あいさつ



髙橋久美子（64）
下津
5期

この度の10月臨時議会におきまして、再び副議長の重責を担うこととなりました。二度目の拝命に、身の引き締まる思いでいっぱいでございます。町民の皆様から託された期待の重みと厚い信頼を心に刻み、議長をしっかりと支えながら、円滑な議会運営に努めてまいります。

現在、みなかみ町は人口減少や地域経済の活性化など、多くの課題に直面しております。これらの山積する課題を解決するため、皆様と行政を結ぶ安心の「パイプ役」となり、大切な声を真摯に町政に届けていく決意です。

誰もが安心して暮らせる元気なまちづくりのため、誠心誠意つくしてまいりますので、今後とも皆様の温かいご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。



持谷 明宏（60）
猿ヶ京温泉
1期

観光の発展と人口減少・災害獣害対策に全力を注ぎ、安全で笑顔あふれる豊かなみなかみ町を築けるよう努力します。



宇野 将之（48）
相俣
1期

移住者としての視点を大切に、町民の声に耳を傾け、現場と数字を大切に、持続可能で子どもたちが帰ってくる町を目指します。

大塚 俊（39）
高日向
1期

是々非々の姿勢を貫き、若さと行動力で町民の皆さまの声を町政へ。地域の魅力と可能性を活かし、活力あるみなかみ町の未来を創ります。



江口 樹（43）
新巻
2期

私の理念である「私たちが住みやすく、住み続けられる町づくり」を大切に農業振興や観光振興に努めてまいります。



河合 史将（43）
東峰
2期

初心忘るべからず。人の声を聴き、現場を見て、ともに歩む。「現場主義」を貫き、町民の皆様と力を合わせ、より良いみなかみ町のために働いてまいります。



田村 敏夫（62）
新巻
1期

町が抱えている課題に真摯に向き合い、若者と共に考えます。路線バス・電車の便数の確保に、町民生活を第一に取り組みます。



星野 宗央（50）
後閑
3期

給食費・保育料の完全無償化などの子育て支援、公共交通の充実、鳥獣被害対策、物価高騰対策、農業支援に取り組みます。



牧田 直己（38）
後閑
3期

町づくりは人づくり。郷土への愛着と誇りを大切にし、この町に住んでよかった、訪れてよかったと思える町づくりに努めます。



石坂 欣也（68）
石倉
2期

理想は高く、歩みは堅実に。初心を忘れることなく、『脚下照顧』の決意で二期目に臨みたいと思います。



小林 洋（61）
小仁田
6期

超人口減少社会を迎える中、未来を見据えると共に、今を生きる皆様が安心・安全で誇りを持てる町づくりに努めます。



髙橋 視朗（74）
下牧
3期

「子や孫に誇れるみなかみ町を」をスローガンに、二期八年の経験を活かし、今後四年間を町民一人ひとりのために議員活動に努めてまいります。



鈴木 美香（56）
政所
3期

一期当選の時にいただいた稲穂の花束を胸に初心を忘れず、日々研鑽を重ねます。皆さまと共に未来を描く責務を全うしてまいります。

新しい委員会構成

総務文教厚生常任委員会　7名

【所管】総務課・財政課・企画課・税務課・会計課・住民課・介護福祉課・健康推進課・子育て支援課・教育委員会の各所管に関する事項
他の常任委員会の所管に属さない事項



田村　敏夫　　石坂　欣也　　大塚　　俊　　髙橋　視朗

委員長　髙橋　久美子
委員長　河合　史将
副委員長　鈴木　美香

産業観光建設常任委員会　7名

【所管】上下水道課・農林課・観光商工課・地域整備課の各所管に関する事項



牧田　直己　　小林　　洋　　星野　宗央　　持谷　明宏

委員長　江口　　樹
副委員長　宇野　将之
阿部　　清

議会運営委員会　6名

【所管】議会運営・議会会議規則、委員会に関する条例・議長の諮問に関する事項



江口　　樹　　小林　　洋　　河合　史将

委員長　牧田　直己
副委員長　髙橋　視朗
髙橋　久美子

議会だより編集特別委員会　5名

【所管】議会だよりの編集に関する事項等



牧田　直己　　大塚　　俊　　鈴木　美香

委員長　星野　宗央
副委員長　持谷　明宏

広域議会議員	
議　員	阿部　　清 髙橋　久美子

監査委員	
議会代表	小林　　洋

9月議会あらまし

8月27日から9月4日までの会期で9月定例議会を開いた。報告7件、諮問、契約、条例、その他、発議各1件、認定6件、補正予算1件を審議した。一般質問は3人であった（9～12頁）。

諮問

人権擁護委員推薦の意見

次の方を人権擁護委員候補者に推薦することについて、適任との意見を付した。

栗原（くりばら） 愛子（あいこ）氏（上津）

発議

第3号　石坂欣也議員に対する問責決議

6名の議員から動議が提出され、賛成多数で問責決議[※1]が可決された。

（要約）過去にも本議会や委員会等での度重なる遅参等が問題視され改善を求めていた中、石坂欣也議員は9月議会定例会最終日の本会議を無連絡で欠席。本件と過去事例を踏まえ猛省し、経緯説明と職務自覚を強く求め、責任を問うもの。

※1　個々の政治的・道義的責任を問う決議のこと。（法的拘束力はない）

決算認定

一般会計

反対 **星野宗央 議員**

おもちゃ美術館関連の費用が上がっているが、他に優先すべき事業があったのではないか。

賛成 **河合史将 議員**

第2次みなかみ町総合計画をはじめとする各種計画に沿って施策と事業が行われ、実質公債費比率は大きく改善された。

国民健康保険特別会計

反対 **星野宗央 議員**

保険料率が変わらなくても物価高騰で実質的な負担は、増え続けてしまっている。

賛成 **鈴木美香 議員**

医療費適正化対策に継続的に取り組んでおり、基金も確保され、財政面で適正に運営・維持されている。

後期高齢者医療特別会計

反対 **星野宗央 議員**

納めやすい保険料が求められる。高齢者の生活は長引く物価高騰で追い込まれている。

賛成 **江口 樹 議員**

保険料を適切に徴収し群馬県後期高齢者医療広域連合に納付し、広域連合は財政運営や資格管理、保険給付を行い安定した制度運営が図られている。

介護保険特別会計

反対 **星野宗央 議員**

誰でも利用しやすい介護制度が必要。保険料についても納めやすい保険料にすることが必要である。

賛成 **茂木法志 議員**

介護サービス費用は計画的に執行され、3年ごとに改定される計画に基づき、給付費の適正試算と保険料率設定が行われている。

水道事業会計

反対 **星野宗央 議員**

他の自治体では、長引く物価高騰で水道の基本料金の減免をしているところもある。

賛成 **河合史将 議員**

施設維持管理・老朽施設更新で、ライフラインの充実を図り、当年度純利益を計上したことは適正な経営と評価する。

補正

総額　161億7227万円

補正額　4億3631万円

（端数処理あり）

歳出

ふるさと納税推進事業	9084万円
ふるさと応援基金管理事業	2億円
産官学金連携による観光拠点整備事業	6016万円
猿ヶ京温泉給湯施設基金管理事業	1650万円
その他	6881万円

歳入

普通交付税	5120万円
観光地・観光産業再生・高付加価値化事業補助金	3651万円
ふるさと寄附金	2億円
ふるさと応援基金繰入金	9084万円
その他	5776万円

9月定例議会議案及び議決結果

議長は採決に加わりません

議案番号			議案内容	議決結果
報告	第 11	号	令和7年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率	
	第 12	号	株式会社水の故郷の経営状況の報告	
	第 13	号	株式会社猿ヶ京温泉夢未来の経営状況の報告	
	第 14	号	株式会社月夜野振興公社の経営状況の報告	
	第 15～17	号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告	
諮問	第 1	号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任との意見
議案	第 66	号	樹木粉砕機購入契約の締結	全会一致可決
	第 67	号	福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	
	第 68	号	訴えの提起	
発議	第 3	号	石坂欣也議員に対する問責決議	賛成多数可決１１：１
認定	第 1	号	令和7年度一般会計歳入歳出決算認定	賛成多数認定１１：１（欠席１）
	第 2	号	令和7年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	
	第 3	号	令和7年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	
	第 4	号	令和7年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	
	第 5	号	令和7年度水道事業会計決算認定	
	第 6	号	令和7年度下水道事業会計決算認定	
議案	第 69	号	令和8年度みなかみ町一般会計補正予算（第2号）	全会一致可決

決算審査

代表監査委員の髙橋（たかはし）道明（みちあき）氏により各会計決算及び各基金運用状況の審査意見について報告があった。（一部を要約）

令和7年度決算について試査の方法により審査した結果、一般会計、特別会計及び企業会計を通じ、会計処理は適法適正であると認めたので報告する。

歳入

自主財源である町税などの滞納繰越額を増やさないことが課題であり、毅然とした厳正な対応で住民間の公平性を保ち財源確保に努めることが強く望まれる。

特別会計（国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料）

収入未済額合計は、前年度よりも1499万1388円減少した。主に国民健康保険税の不納欠損によるもの。

行財政運営と適正な行政執行

行政需要の多様化に伴い新施策に対応しつつ、事務事業の統廃合や縮減を図り、適正規模で効率的な行政運営を進め、経費削減・事務の効率化・人員配置の適正化に向けた対応を期待したい。



委員会

決算連合審査会

9月4日、2常任委員会合同の「連合審査会」が開催された。本会議で決算認定を行うため、質疑応答で詳細を審査する目的がある。（一部抜粋）

一般会計

歳入

質 **町民税**、個人と法人それぞれ前年度に対し、大幅に増額になっている理由は。

答 個人は令和6年度（前年度）に定額減税があり、法人は景気が浮揚したことによる収益からの増額。

質 **クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金**663万円の内容は。

答 矢瀬親水公園内に整備した、EV車の急速充電器に対する補助金。

歳出

質 **木育推進事業**、予算と決算との差額が2900万円ほどあるが、詳細は。

答 おもちゃ美術館の展示企画、空間計画業務が年度内に完了せず、残額が繰り越しとなった。

質 **常任委員会等運営事業**費の議会費が、前年度より多い理由は。

答 台南市との交流協定で多くなっている。

質 **ローカルスタートアップ支援事業**3500万円。具体的な内容は。

答 廃校舎のリノベーションによる地元農産物を活用したクラフトビールの醸造所整備事業。

質 **たくみの里ヨーグルト工房管理運営事業**。1500万円もの額を流用して工事を行ったが議会への説明がなかったことについて考えは。

答 急を要する工事であった。金額が多額なこともあり報告が必要だったと思う。

質 **利根郡スポーツ協会負担金**、大幅な減額の理由は。

答 毎年行われていた陸上競技、県大会郡大会がなくなったため。

国民健康保険特別会計

質 **不納欠損額**が前年度比で、1320万円ほど増額になっている理由は。

答 令和4年度（3年前）に実施した執行停止の件数と金額が大きかったため。内容的には生活に困窮している方が多かった。

介護保険特別会計

質 **不納欠損額**250万円。前年度の決算よりも増えている理由は。

答 本人死亡、相続人不在、経済的困窮、居所不明で徴収困難なケースがありこれを欠損したため。

審査結果

各委員会において、一般会計をはじめ全ての会計で審議が行われ、採決の結果、認定すべきものとなった。



町政を問う

9月議会 一般質問

一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。

執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。

定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっている。

事前通告一覧

石坂 武（いしざか たけし）
①連携協定等締結状況とその取り組み
②職員の勤務状況は改善されているか

星野 宗央（ほしの かずひさ）
①旧町立中学校での新型コロナ集団感染報告は
②町立こども園の役割と私立こども園との比較は
③利根商業高校がなくなることで町への影響をどうとらえているか

鈴木 美香（すずき みか）
①障害福祉サービス事業所「ぴっころ」でうまれた作品の支援は
②奥利根アメニティパーク内の各施設の現状と今後について
③中・高生を対象とした移住者との交流機会の創出



石坂 武 議員

県・各自治体・民間企業との協定は

町長 **町の安心・安全の確保に極めて重要**

問 災害部分において、県・各自治体・民間企業との協定があるが、その点はどうか。

答 町長 連携強化は、町の安心・安全の確保において極めて重要な課題と認識している。そのため、町は隣接自治体や関係民間企業と複数の災害協定を締結している。

問 同一内容の協定が複数存在するが、災害時において支障はないか、混乱が生じないか心配。その点について。

答 町長 協定の中に内容が重複している部分もあるが、選択肢を多く持つことは町民の安心・安全を守るため有益なことと考える。

問 合併前に協定を結んだ中で、現状にマッチしていないものもあるが見解は。

答 町長 現在も存続しており、破棄されたものではなく引き継がれている。実情を踏まえ協定内容等、再確認していく。

問 その他の協定部分は災害協定と違い、活動が毎年継続されていると思うが、活動内容が町民に周知されていないと思う。見解は。

答 町長 包括連携協定などは、地域の持続的な発展や住民生活の質の向上を実現する大変重要な取り組みで、連携推進には町民のご理解とご協力が不可欠であり、その内容や成果を広く町民に周知し、理解を深めてもらう必要があると考えている。



防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築

職員の勤務状況は改善されているか

問 昨年の6月時点で、職員の業務量の増加に関する質問に対し、町長は「負担が増えているのは事実であり、業務の効率化や事務事業の廃止なども見据えた行財政改革を進めたい」と回答しているが、具体的にどう取り組み、成果が出たか。

答 町長 各課の事務事業及び業務プロセスの見直しや、デジタル化による業務効率化など着手しているところだが、本格的にその効果が発揮されるにはもう少し時間が必要であると考える。本年度より地域防災マネージャーや地域活性化起業人といった外部人材を登用等、改革に向けた基盤整備を一歩一歩、着実に進めている。

問 障害者雇用について、当時法定雇用率を下回っていたが、現状は。

答 町長 8月1日現在、法定雇用率3.0%を超える水準を達成している。今後とも障害者雇用促進法の趣旨を踏まえ、継続的な雇用に努めていきたい。



星野 宗央 議員

旧中学校での新型コロナの集団感染報告は

教育長 **調査、指導を受けて群馬県教育委員会に行った**

問 令和3年4月の旧中学校での集団感染についての公式な報告は。

答 教育長 感染拡大の原因は、換気の不足や電話等共用機器の除菌の不足、職員室の机の近さが指摘された。新型コロナウイルス感染症の集団感染の正式な報告は、利根沼田保健所の調査、指導を受けて群馬県教育委員会に行った。感染原因は特定されなかったので、学校から発症したのではないが、5人以上の感染者が出たので、感染拡大は学校で起きたことになる。

問 当時の旧中学校の対応は。

答 教育長 保護者宛てに学校再開に向けた取り組みをメール送信している。教職員の感染対策に不足があったことを深く反省し、おわびしている。利根沼田保健所からの指導事項を伝え、内容は教職員の集団感染に対する臆測やうわさのようなことは全くなかったこと、職員室や教室環境の改善策など。再開時に生徒に直接説明し、その後はそれを実践していた。

問 臆測やうわさはどのように調査を行ったのかと、どのようなうわさがあったのか。

答 教育長 教員が感染をした。集団感染になったので、その頃飲み会をしていたとか、個人名を挙げて何々さんが広げたとか、誹謗中傷する内容もあった。教職員の感染前の2週間を遡って全部行動記録を出したりして個人の聞き取りをしたが確認できなかった。

問 学校の中で先生方がマスクをしない状況があったのか。

答 教育長 そういう事実はない。マスクをして、手指の消毒もしているという記録が残っている。

町立こども園の役割と私立こども園との比較は

問 町立こども園は町にとって重要な施設だと思っている。町としてはどのように考えているのか。



町立にいはるこども園

答 町長 公立こども園を有することは、子ども・子育て施策を推進する上で重要な基盤の一つである。私立こども園も、地域の子ども・子育て支援に大変重要な役割を担っている。

利根商業高校がなくなることで町への影響をどうとらえているか

問 利根商業高校がなくなることでの町への影響は検証されているか。

答 町長 閉校に伴って、地域の交通利用や経済活動への一定の影響が懸念されるが、これらの課題を受け止め、一部事務組合の構成自治体と連携の上、今後の対応を検討していく。

アートに企画支援や、伴走支援を行うべきでは

町長 町として可能な連携協力体制を模索していく



鈴木 美香 議員

問 障害者による文化芸術活動の推進に関する法律では、地方公共団体に対し、障害者の文化芸術活動を推進する責務を明確にしている。具体的な支援策として、作品のアーカイブ化や著作権の申請、活用のノウハウを持つ専門家を、派遣、支援する仕組みをつくれないか。



「ぴっころ」の手工芸品は役場窓口でも販売中

答 町長 群馬県障害者芸術文化活動支援センターのサテライトセンターなどの動向に注目しながら、情報収集を図っていきたい。

奥利根アメニティパークの現状と今後の方向性

問 RDF固形燃料を利用した発電施設が故障し、稼働を停止してから既に20年が経過。修理費用を理由に放置され、長期にわたり判断が見送られてきた経緯について、町としてどのように認識しているのか。

答 町長 検証し、施設を修理するのではなく、RDFをより安価で処理できる町外施設を利用することになった。

問 使わないという判断をされているのであれば、解体というようなほうに行政としてかじを切らなくてはいけない。

国の補助金が活用できる時期を見極めてというのであれば、逆算し、今から解体費用の捻出計画を立てて備えることこそが後世に対する責務と考えるが、見解は。

答 町長 建屋は利用できる。安全面を確保した上で、資源物の一時保管に有効に現在も利用している。

中・高生を対象とした移住者との交流機会の創出

問 都市部に憧れを抱く中で、地元の価値や魅力を客観的に捉え、郷土愛を育むアプローチとして、教育現場において移住者の存在やその知見を活用することの認識は。

答 教育長 移住者の知見などを活用する機会は、外からの視点で新たなよさを発見できる、町のよさを再認識できる、多様性への気づきの可能性がある大変貴重なこと。

問 町としてもこうした機会をより戦略的、積極的に創出すべきでは。

答 町長 教育委員会と一層連携を深め、しっかりと町の魅力を伝え、子どもたちが将来ライフステージの変化に伴う岐路に立ったとき、「みなかみ町」での暮らしを選びたくなる、選ばれるような取り組みを推進していきたい。

10月臨時議会議案及び議決結果

議長は採決に加わりません

議案番号		議案内容	議決結果
選挙	第 1 号	議長選挙	
	第 2 号	副議長選挙	
発議	第 4 号	常任委員会委員の指名選任	
	第 5 号	議会運営委員会委員の指名選任	
	第 6 号	議会だより編集特別委員会の設置	全会一致可決
	第 7 号	議会だより編集特別委員会委員の指名選任	
選挙	第 3 号	利根沼田広域市町村圏振興整備組合議会議員選挙	
発議	第 8 号	議員派遣 群馬県町村議会議員研修会に全議員を派遣するもの 利根郡町村議会議員研修会に全議員を派遣するもの 東京都三宅島産業祭に議員を派遣するもの	全会一致可決
報告	第 18 号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告	
承認	第 5 号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告	全会一致承認
人事	第 70 号	監査委員の選任	全会一致同意
議案	第 71 号	ダンプトラック（2ｔ級）購入契約の締結	全会一致可決

10月臨時議会あらまし

10月14日に臨時議会を開いた。

発議5件、報告、承認、人事、契約各1件を審議した。



新体制にて臨む

よせられた感想

90代

いつも楽しみにしているのは表紙の写真です。これからも良い記事を楽しみにしております。（下牧）

70代

毎号がとても読みやすいので楽しみです。（羽場）

60代

各議員が何を重点に政策を行っているか分かりやすく、議員を選ぶ際の参考になります。（下牧）

40代

まちの匠コーナーを楽しみにしています。町の自然と共に家業を継ぐ方々、新しいことにチャレンジしていく姿はすばらしいなと思いました。今度お店に行ってみようと思います。（月夜野）

議会傍聴のご案内

規則を守り傍聴してください

…… 流れ ……

①受付にて「受付表」に記入する（住所・電話番号・氏名）
②受付表を係に渡して「傍聴カード」を受け取る
③傍聴席へ
④帰りに「傍聴カード」を返却箱に入れて終了

※飲食・録画・録音・写真撮影は禁止

次回の定例会は

12月　2日（水）～
12月11日（金）の予定

場所：役場本庁舎３階議場
時間：開会は９時
席数：３４席
【問い合わせ先】議会事務局
☎25 - 5023

議会だより編集特別委員会

委 員 長…星野　宗央
副委員長…持谷　明宏
委　　員…大塚　　俊
　　牧田　直己
　　鈴木　美香
編集モニター
　　利根商業高等学校生徒

映像配信

本会議の録画映像がインターネットで配信され、傍聴できない方も視聴可能です。視聴はQRコードを読み取るか町ホームページからアクセスしてください。安定したWi-Fi環境での視聴を推奨します。



編集後記

長雨だった秋も終わりが見え、朝晩が肌寒くなりました。暑かった夏が恋しい季節となりました。運動の秋、食欲の秋と思い体力づくりに励もうと思っています。秋の味覚も期待しています。お米、栗、柿、ぶどうにリンゴとみなかみ町は、秋の味覚を満たすものがそろっています。ありがたいことです。

さて、過日の臨時議会において、新しい5人の議会だより編集特別委員会が選出されました。

議会だよりは、住民のみなさんに議会の取り組みを知っていただくための重要な報告のお便りです。読みやすく手に取ってもらいやすい紙面にしていくことが、一番の課題と思っています。

これまでの4年間も議会だよりに携わってきました。その経験を生かしながら、編集委員のみなさんと一緒になって、より良いものにしていくために頑張ります。

（星野宗央）

クイズ

問題



１期目の議員の人数は？
（ヒントは3ページ）

Ⓐ ０人　　Ⓑ ４人　　Ⓒ １４人

前回の議会だより88号ふるさとクイズの正解は『Ⓒ １４人』でした。

★この頁は町民みなさまにご参加いただく頁です。以下を参考にふるってご参加ください。
★正解者には抽選で若干名様に粗品を進呈いたします。

参加のきまり

下の**ハガキ**または、裏面の**FAX用紙**などに、クイズの**答え・住所・氏名・議会だよりの感想**を記入し、お送りください。
※**下のハガキ**は、裏面を記入後に**必ずのり付け**をして投函ください。

〒379-1393　群馬県利根郡みなかみ町後閑318
みなかみ議会だより「クイズ・感想」係
締切：令和８年１２月３１日（当日消印有効）
※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

料金受取人払郵便
沼田局承認
1154
差出有効期間
令和９年３月
31日まで
（切手不要）

3790131

群馬県利根郡みなかみ町後閑三一一八

みなかみ議会だより
「クイズ・感想」係

――記入欄は裏面にあります――

山折り線



ミソサザイ（撮影場所：羽場）

議会だより
みなかみ
発行／みなか み町議会
発行責任者／議長　阿部　清
〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑318
☎0278-25-5023
編集／議会だより編集特別委員会
印刷／有限会社 コトブキ印刷　☎0278-22-5400



FAXの方は、この線で切り取ってご利用下さい。

FAX番号 0278-25-8127

皆さんの感想

ハガキの方は、この線で切り取り
内側へ貼り合わせて投函してください。

○クイズの答え ⇨ ＿＿＿＿＿＿＿＿

○住　　所 ⇨

（ふりがな）
○氏　　名 ⇨ ＿＿＿＿＿＿＿＿

○年　　代 ⇨ ・～10代　・20代　・30代
（該当項目に○印を付けてください）　・40代　・50代　・60代
・70代　・80代～

谷 -折- り -線

○議会だよりの感想

のりしろ　のりしろ

のりしろ